

令和元年11月24日

取手市議会議長  
入江 洋 一 殿

取手市議会議員

齋藤 久代

### 議員派遣（視察研修）報告書

令和元年11月14日付け、取議発第103号にて決定通知のありました議員派遣につきまして、下記のとおり報告いたします。

#### 記

1 派遣年月日

令和元年11月19日

2 派遣場所及び派遣目的

場所：東京都千代田区

千代田区立麴町中学校

目的：中学校教育における先進的な取り組みの視察のため

3 派遣議員

遠山智恵子・齋藤久代・阿部洋子・金澤克仁

4 視察報告

(こちらに視察報告を記入してください)

#### 【視察 千代田区立麴町中学校】

教育委員会に随行して議員派遣の形で議会から代表4名が参加。

定期テスト・宿題の廃止、固定担任制から全員担任制へ、など教育現場の改革で全国に名を馳せている麴町中学校。

自律して生きる力を育む。

学校は何のためにあるの？

勉強は何のためにするの？

日頃突き詰めて考えないテーマを確認しなければならない時期にきているのかもしれませんが。

麴町中学校の康君は「進取の気性」教育目標は

自立：自ら考え判断し

尊重：違いを理解し、他者を尊重する

創造：豊かな発想を持ち、創意工夫する

目指す生徒像は国際人として行動できる力を育成する。

どの学校にも校訓があり教育目標があり、目指す生徒像を掲げているけれど、そこに向かって本気で日々実践を重ねている強い印象を受ける。本来そうあるべきだけれども、いかに自分がその感覚を失っていたかを実感させられました。これは反省すべき自分自身への気づきでした。

さらに、麴町中学校の優れた取り組みは目指す教師像を掲げている点。

目指す教師像：人づくりは人づくりから

経験を通じて身につけた能力を価値づけることのできるスキルを身に付ける。目指す教師は質の高い効率的な組織運営の実現によって生まれる。職場としても魅力的な環境があると想像できます。教育の世界で子どもたちも疲弊し、教員も疲弊しているのではと心配しているのは私一人でしょうか。子どもも先生も楽しい学校、麴町中学校は通っている皆が楽しんでいる。学校は本来そういう所だったと・なぜ忘れてしまっていたのでしょうか。

国際人として考え行動できる力を育成するために具体的な取り組みがなされています。

・フレームワークの習得(麴町中ノート スケジュール手帳)

- ・協働的な学びの思考ツール、プレゼン技術の習得 スキルアップ宿泊
- ・アフタースクールの充実
- ・自治活動の促進(生徒が主体で運営する 体育祭・麴中祭の自主運営 報道局 購買局 ボランティアの促進)
- ・インクルーシブ教育の推進
- ・共同学習・交流学习の推進
- ・教育相談体制の充実(ヤングアメリカンズの実施 全員担任制による学年運営 ふれあい月間の実施 QU テストの実施)
- ・「卒業生が講師」の実施
- ・ミライ探求フィールドワーク
- ・企業・大学と連携(修学旅行はツアー企画取材旅行・模擬裁判)
- ・地域避難所運営と連携した総合防災訓練、普通救命講習

目的のために何をするか、具体的取組は大人が知恵を絞って生まれたものと想像できます(ひとつひとつの取り組み開始についての説明は特になし)。日々のまた毎年の実践は弛まぬ改善活動(目的と手段を徹底して吟味)するPDCAの中で継続されています。

授業時間の見学に続いての工藤勇一校長先生のお話の後には質疑応答の時間があり、予定時間を大幅に越えて熱心な質問が飛び交いました。月に一回視察を受け入れている麴町中学校、今日は150名の枠に190名が参加されていたとか。全国から視察者が殺到しています。地元を持ち帰って次に私達のなすべきことは取手の子どもたちのためによりよい改革をすることだと考えます。

大きな刺激をいただく一日になりました。

以 上